

航空自衛隊入間基地に関する 令和4年度概算要求の主要事業について

1. C-2輸送機の取得・配備等

(1) C-2輸送機の取得

運用開始から40年以上が経過した現有のC-1輸送機の減勢に対応するとともに、航空輸送能力を向上させるため、C-1輸送機の後継機としてC-2輸送機の導入を進めています。

令和4年度概算要求においては、1機の取得に係る経費（約224億円）を計上しています。



(2) C-2輸送機の受入れ施設等の整備

令和4年度概算要求においては、整備格納庫等の経費（約54億円）を計上しています。

2. 高射群の体制移行

航空自衛隊の各航空方面隊隷下に置かれる高射群は、地对空誘導弾をもってする防空行動等を任務とする部隊であり、北部航空方面隊及び中部航空方面隊に各2個、西部航空方面隊及び南西航空方面隊に各1個置かれ、6個高射群体制となっています。

防衛大綱・中期防に基づき、指揮統制を含め、より効率的な部隊運用を行うため、地对空誘導弾部隊24個高射隊は維持しつつ、6個高射群から各航空方面隊隷下1個高射群の4個高射群体制に移行します。これに伴い、岐阜基地に所在している第4高射群の群本部を廃止し、入間基地に所在している第1高射群の群本部へ統合し、中部高射群（仮称）へ改編（約20名増）いたします。

3. 航空安全管理隊の移動

航空安全管理隊は、航空事故が発生した際、事故現場に赴き、事故の現地調査を実施するとともに、事故原因等を分析、検討する部隊です。航空事故発生直後に、事故現場に調査官を迅速に派遣させることができるよう、令和4年度に、立川分屯基地から航空輸送部隊（第2輸送航空隊）が所在する入間基地へ移動（約60人）することとしています。

4. 入間基地の定員の増減

入間基地の定員については、令和4年度概算要求における各種事業等により、以下のとおりとなる予定です。

令和3年度末	令和4年度末	増▲減
約4,390名	約4,480名	+約90名